【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成17年2月24日(2005.2.24)

【公開番号】特開2001-223687(P2001-223687A)
【公開日】平成13年8月17日(2001.8.17)
【出願番号】特願2000-30728(P2000-30728)
【国際特許分類第７版】
　Ｈ０４Ｌ　9/18
　Ｈ０４Ｌ　9/10
　Ｈ０４Ｌ　9/32
　Ｈ０４Ｎ　7/167
【ＦＩ】
　Ｈ０４Ｌ　9/00　６５１
　Ｈ０４Ｌ　9/00　６２１Ａ
　Ｈ０４Ｌ　9/00　６７３Ｄ
　Ｈ０４Ｎ　7/167　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成16年3月19日(2004.3.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の装置の回路にあっては、
第１のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第１のメモリと、
前記第１のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記スクランブルされた秘匿データを前記第１のキー情報でデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路とを有した第１の回路とを有し、
第２の装置の回路にあっては、
前記第１のキー情報とは異なる第２のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第２のメモリと、
前記第２のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記スクランブルされた秘匿データを前記第２のキー情報でデスクランブルする前記デスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路とを有した前記回路とを有し、
たことを特徴とする複数の秘匿データ処理装置。
【請求項２】
第１の回路群は、
第１のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第１のメモリと、
前記第１のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記スクランブルされた秘匿データを前記第１のキー情報でデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路とをもつ、第１ロットで生産された前記第１の回路群であり、

第２の回路群では、
前記第１のキー情報とは異なる第２のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第２のメモリと、
前記第２のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記スクランブルされた秘匿データを前記第２のキー情報でデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路とをもつ、第１ロットとは異なる第２ロットで生産された第２の回路群である、
ことを特徴とする複数の秘匿データ処理装置。
【請求項３】
第１の回路群は、
第１のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第１のメモリと、
前記第１のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記スクランブルされた秘匿データを前記第１のキー情報でデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路とをもつ、第１仕向先へ出荷されるべく製造された第１の回路群であり、
第２の回路群は、
前記第１のキー情報とは異なる第２のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第２のメモリと、
前記第２のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記スクランブルされた秘匿データを前記第２のキー情報でデスクランブルする前記デスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う前記処理回路とをもつ、第１仕向先とは異なる第２仕向先へ出荷されるべく製造された第２の回路群である、
ことを特徴とする複数の秘匿データ処理装置。
【請求項４】
第１のキー情報を格納するための第１のメモリと、
第２のキー情報を格納するための第２のメモリと、
前記第１のキー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納する第３のメモリと、
第１のキー情報を供給するべく前記第１のメモリを選択する選択手段と、
前記第３のメモリから前記秘匿データを受け取り、前記選択手段が選択した前記第１キー情報に基づき、前記スクランブルされた秘匿データをデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路と、
を具備することを特徴とする秘匿データ処理装置。
【請求項５】
前記選択手段は、前記第１と第２のメモリを前記第１のスクランブラに選択的接続を行うためにスイッチと、このスイッチを制御するための選択データを格納した選択回路とを有することを特徴とする請求項４記載の秘匿データ処理装置。
【請求項６】
前記第３メモリは、前記秘匿データと共に選択データが書き込まれており、前記選択手段は、前記第１と第２のメモリを前記第１のスクランブラに選択的接続を行うためにスイッチと、前記第３メモリに書き込まれた前記選択データに応じてこのスイッチを制御して前記第１メモリを選択することを特徴とする請求項４記載の秘匿データ処理装置。
【請求項７】
第１のキー情報を格納するための第１のメモリと、
第２のキー情報を格納するための第２のメモリと、
前記第１のメモリのみに結線されており、前記第１のキー情報でスクランブルされた機器

毎に異なる秘匿データを外部から受け取り、前記選択手段が選択した前記第１キー情報に基づき、前記スクランブルされた秘匿データをデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路と、
を具備する１つのＬＳＩ装置で構成されることを特徴とする秘匿データ処理装置。
【請求項８】
第１のキー情報を格納するための第１のメモリと、
第２のキー情報を格納するための第２のメモリと、
前記第１のメモリと前記第２のメモリとに結線されており、その後に選択される方のキー情報に基づいて、外部から与えられるスクランブルされた秘匿データをデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路と、
を具備する１つのＬＳＩ装置で構成されることを特徴とする秘匿データ処理装置。
【請求項９】
第１のキー情報を格納するための第１のメモリと、
第２のキー情報を格納するための第２のメモリと、
前記第１のメモリと前記第２のメモリとには電気的には接続されてはおらず、その後に選択される方のキー情報に基づいて、外部から与えられるスクランブルされた秘匿データをデスクランブルするデスクランブラと、
前記デスクランブラでデスクランブルされた前記秘匿データを用いてデータ処理を行う処理回路と、
を具備する１つのＬＳＩ装置で構成されることを特徴とする秘匿データ処理装置。
【請求項１０】
所定キー情報でスクランブルされた秘匿データを含む機器毎に異なるデータを格納するメモリと前記スクランブルされた秘匿データを前記所定キー情報でデスクランブルしてデータ処理を行うＬＳＩ（大規模集積回路）とを有する情報機器の秘匿データの暗号化・復号化方法において、
前記スクランブル及びデスクランブルの前記所定キー情報を、一定の事項に応じて異ならせることを特徴とする秘匿データ処理方法。